

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有有価証券・・・償却原価法（定額法）によっている。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

建物、建物付属設備、構築物、車両運搬具、什器備品・・・定率法によっている。

#### (3) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

会館取壊引当金・・・賃借している土地の返還に伴う、建物の撤去費用として計上している。

#### (4) 消費税等の会計処理

消費税等に係る会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	10,000,000	0	10,000,000	0
定期預金	0	10,000,000	0	10,000,000
小計	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000
特定資産				
退職給付引当預金	10,639,700	636,800	—	11,276,500
会館取壊引当預金	27,700,000	0	—	27,700,000
消防大会事業基金	6,000,000	—	0	6,000,000
慰霊祭事業基金	900,000	—	100,000	800,000
周年事業基金	2,850,000	950,000	—	3,800,000
減価償却引当資産	1,916,431	872,195	29,126	2,759,500
コロナ対策事業	1,260,000	0	275,000	985,000
小計	51,266,131	2,458,995	404,126	53,321,000
合計	61,266,131	12,458,995	10,404,126	63,321,000

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	10,000,000	—	10,000,000	—
小計	10,000,000	—	10,000,000	—
特定資産				
退職給付引当預金	11,276,500	—	11,276,500	—
会館取壊引当預金	27,700,000	—	27,700,000	—
消防大会事業基金	6,000,000	—	6,000,000	—
慰霊祭事業基金	800,000	—	800,000	—
周年事業基金	3,800,000	—	3,800,000	—
減価償却引当資産	2,759,500	—	2,759,500	—
コロナ対策事業	985,000	—	985,000	—
小計	53,321,000	—	53,321,000	—
合計	63,321,000	—	63,321,000	—

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	25,407,876	19,486,717	5,921,159
建物附属設備	37,659,248	32,621,621	5,037,627
構築物	409,500	383,050	26,450
車両運搬具	2,198,657	2,198,652	5
什器備品	6,447,483	6,437,206	10,277
建設仮勘定	2,216,920	0	2,216,920
一括償却資産	121,000	40,333	40,334
合計	74,460,684	61,167,579	13,252,772

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
受取補助金 県補助金	福島県	—	1,500,000	1,500,000	—	一般正味財産
小計		—	1,500,000	1,500,000	—	—
合計		—	1,500,000	1,500,000	—	